



# もみじ

明るく のびのび 遊ぶ子ども

令和2年 6月 1日

園だより No.3

新潟市立新津第一幼稚園

## しっかりと「見る・観る・視る！」

園長 田邊裕一

6月1日から通常の登園となりました。とは言え、今後も「新しい生活様式」の基本3点、「手洗い・マスクの着用・距離の確保」を意識しながら生活していくことが大切です。この3つの頭文字を取って、「て・ま・き」の約束と呼んでいます。ご家庭でも「て・ま・き」が意識できるようご配慮ください。

さて、6月に入りました。まだ、暑すぎず過ごしやすい時期です。外に一歩足を踏み出すと、子どもたちは風を肌で感じ、花や草の匂いを受けとめ、作物が成長する様子や生き物の動く姿に心をときめかせます。五感を働かせるたくさんの経験ができます。このような、「わくわくする」体験が脳を育てることにつながると言われています。幼児期の子どもの脳をすこやかに育てるために、大切なことは、「子どもの知的好奇心を育てること」です。

3歳くらいになると脳のネットワークが発達し、いろいろな事物に興味・関心を抱くようになります。植物や動物に心を惹かれ、じっと見つめたり、その様子を教えてくれたりします。好奇心を持ち、わくわくした気持ちで脳が活性化している状態です。このようなときに、大人が「きれいな花を見つけたね。なんていう花だろうね？」などと、子どもの興味・関心を感じ取り、共感したり、言葉でよさを感じたりしてやるのが効果的です。それによって、発見した喜びが大きくなり、想像がふくらみ、脳に良い刺激を与えることができると言われています。

日々新たな経験を繰り返し、成長する子どもたち。大人は、それをサポートできるようしっかりと「見る、観る、視る」ことが大切です。



小学校の屋上で新しい発見をする年長さん

### ブログ はじめました！

新津第一幼稚園の子どもたちが、心を惹かれ、見つめたり、発見したり、想像を膨らませたりしている日々の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。新津第一幼稚園のHPから入れます。



